

# 「英語×オンライン」の授業に備える：基礎編

企画運営：名古屋大学高等教育研究センター《質保証を担う中核教職員能力開発拠点》



2021年 9月30日(木) 13:00—16:30

2021年10月 8日(金) 13:00—16:30

※いずれか1日にご参加いただきます。

スケジュールの詳細は裏面をご参照ください。

講師：吉中 昌國

株式会社アルク専属 グローバル人材開発コンサルタント



## 概要

本セミナーは、英語での授業をこれから担当する教員を対象に、英語で効果的な授業をするために必要なことについて考え、準備の第一歩を踏み出すことを目的とし、下記内容を提供します。

- ・英語で授業をする際のノンネイティブ・スピーカーとしての工夫を考える
- ・授業の最初のセッションで効果的に自己紹介するコツを知り、グループ内で練習を行う
- ・英語で実施している授業で発言しようとしにくい学生への対応を考える

本セミナーはZoomによるオンラインで開催します。オンライン参加が可能であることをご確認の上でお申し込みください。

### オンライン参加の要件等

- ・カメラ・マイクが利用可能で、高速なインターネットに接続されたPC等が用意できること。
- ・発言等ができる静穏な環境で参加できること。

## 対象

- 1) 本学教員
- 2) 国内の他大学教員（若干名）

## お申込み

下記ウェブサイトから、必要事項を入力の上、お申し込みください。  
<https://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seminar/form/210930/>

## 定員

各15名（他大学教員枠は、うち5名程度を予定）  
・応用編（10/14開催）への参加は、基礎編に参加された方を優先します。  
・参加希望者が多数の場合は、英語による授業経験年数や英語によるオンライン授業の担当予定を総合的に勘案して、参加者を選考します。

申込期限 9月17日（金）13時

※いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。

お問合せ 名古屋大学高等教育研究センター info@cshe.nagoya-u.ac.jp

【スケジュール】 両日とも同内容です。

## オリエンテーション

1. 授業で使う英語とは？
- ・ノンネイティブとしての心構え
  - ・ブローケン・イングリッシュは通じるか？

ノンネイティブ・スピーカーとしての英語の弱点を、今持っている英語力を使ってカバーする方法を考えます。同時に、ノンネイティブ・スピーカーである学生への配慮についても考えます。また、英語文法におけるメイジャー・エラーとマイナー・エラーの違いについて知り、発話に役立てます。

2. 最初のセッション
- ・自己紹介をする
  - ・専門分野を選んだ理由を語る

講座の最初のセッションを想定し、自分自身と自分の専門分野について話す練習をします。学生のやる気を高めるために、教員の個性を見せ、情熱を開示します。

3. 学生を巻き込むコツ
- ・静かな学生に発言させる工夫は？
  - ・学生が発言しない理由
  - ・学生のやる気を促す誉め言葉

英語で実施している授業で発言しようとしなない学生にはいくつかの理由があります。それぞれの理由に対応するための工夫を考えます。また、学生のやる気を高めるために返す一言表現のリストを作ります。

## 吉中 昌國

カリフォルニア大学バークレー校で社会学修士号取得。外国人講師のマネージャーを長年務め、企業でのグローバル人材開発コンサルタントとして活躍。

アメリカの大学についての豊富な知識と体験を基に、多くの国立大学でFD研修を担当。インタラクティブで丁寧な指導に定評がある。

